

ご自由にお持ち帰り下さい



命と暮らしをささえるために1

心を通わせ、明日につなぐ2

グループホーム若松ぎのわん 新築移転しました3

地域包括ケア病棟でのリハビリの役割4

こころのサプリメント··三つ燃りの糸は簡単には切れない5

Medical Healthy Recipe··七夕の日の冷やしソーメン5

介護報酬臨時改定『食費について』.....6

介護老人保健施設 若松苑 理念6





命と暮らしをささえるために

アガペ会 理事長 涌波 淳子

近年の診療報酬・介護報酬改定に伴い、外来受診料や入院費、介護事業所の利用料が見直され、患者さまやご家族の皆さまにはご負担をお願いする場面が増えており、私たちとしても、大変心苦しく、申し訳なく感じています。一方で、医療機関や介護事業所も、物価高騰、人材確保の難しさの中で、非常に厳しい状況が続いていました。今回の医療・介護への緊急支援策や報酬改定によって、ようやく経営改善、職員の待遇改善にも取り組める環境となりました。

地域の医療・介護を守り続けるためには必要な改定——そう理解できても、実際に支払う立場になると「厳しい」という声があることも事実です。だからこそ、これからますます大切になるのが「予防によって健康寿命を伸ばすこと」です。高血圧や糖尿病などの生活習慣病は、自覚症状が乏しく、健康診断を受けなければ早期発見はできません。沖縄県では健康診断受診率や外来受診率が低く、重症化して即入院となるケースも少なくありません。近年は30代、40代の高血圧による脳卒中も増えています。障害を抱え、その後の長い人生を送る若い患者さんを見るたび、医療者として悔しい思いを抱きます。予防や早期発見によって生活習

慣病を適切に管理することで、重症化を防ぎ、入院や介護が必要となるリスクを減らすことにつながります。

医学や介護の進歩によって、支えられる命や人生は確実に増えてきました。同時に、予防や健康づくりをすることが、皆さんの生活を支え、持続可能な医療・介護体制につながる事も事実です。「病気にならないための予防」、「治し、支える医療」、そして「介護」。そのすべてを地域の中でつないでいくことが、私たちの使命だと考えています。アガペ会では、ファミリークリニックきたなかぐすくや北中城若松病院を中心に、健康診断やワクチン接種による予防から、早期発見・早期治療、さらにリハビリ・介護・認知症ケアまで、「病気になる前から、病気になった後まで支える」医療と介護に取り組んでいます。

アガペ会の理念は、「アガペに生かされ、アガペに生きる —療養者とそのご家族の幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の幸せ—」です。医療や介護を守ることは、単に病気を治すことではなく、一人ひとりの人生や暮らし、そして地域そのものを支えることだと考えています。神様から与えられた命と人生を、地域の皆さまとともに大切に守り、支えていきたいと思ひます。

心を通わせ、明日につなぐ

～私たち病棟が大切にしていること～

第5病棟 課長 玉栄 育子(看護師)

第5病棟は、認知症や精神疾患など病気と向き合いながら療養生活を送っている方々が入院しています。病棟が一番大切にしていることは、療養者様が「自分らしく、穏やかに過ごせること」です。



病棟では、昔懐かしい思い出を語り合う「回想法」や心がホッと落ち着くチャプレンのお話しが聞ける「かりゆし会」、みんなで頬張る「たこ焼きパーティー」や新しい年を祝う「新年会」を開催しています。

「新年会」などの行事ではご家族やスタッフも一緒になって、賑やかな時間を過ごしています。こうした何気ない時間と笑い声が、心と身体を癒やしてくれていると思います。

今回は、50代の療養者様とのエピソードをお話しします。

その方はアルコール関連の病気が重症化してしまい「お看取り（最期を迎えるための準備）」という厳しい状態の寝たきりで第5病棟へ入院してきました。ご家族も病棟スタッフ達も、穏やかな最期を迎えられるようお手伝いをしようと決めていました。しかし、ご本人に合わせたケアや治療を続けていくと、少しずつ変化が現れて、ご本人様から「もう一度、自分の足で歩きたい。社会復帰をしたい。」と強い想いを話されるようになりました。ご本人の想いが叶えられるよう、生活の中で行えるリハビリを頑張ってもらい、スタッフはそれを見守って応援していました。

そして、あきらめない努力が実を結んで、

寝たきりから自分の足でしっかりと歩いて退院することができました。退院された後も数ヶ月毎に病棟へ近況報告があり、今年の4月には無事、新しい職場へ就職されて「元気にしてるよ！」と病棟へ遊びに来てくれました。そのときのご本人とスタッフの笑顔はとても素敵でした。



元気になって病院に遊びに来てくれました☆

今回、たとえ厳しい状況でも、ご本人様の「もう一度」という力と、周囲の支えがひとつになれば、明日を変えることができるということを教わりました。

第5病棟は、これからも療養者様の「想い」や「生きる力」を信じて、その人らしい明日につながるケアを大切にしていきたいと思っています。



グループホーム若松ぎのわん

新築移転 しました

管理者

伊芸 豊史(介護福祉士)



グループホーム若松ぎのわん
ルームツアー

グループホーム若松ぎのわんは、2008年に宜野湾市新城に開設し、地域の皆様に支えられながら、18年を迎えることができました。このたび2026年5月、宜野湾市上原に新築移転し、新たなスタートを切る運びとなりました。

これまで1ユニット9名のホームとして運営してまいりましたが、新施設では2ユニット18名の体制となり、より多くの方々に安心して生活いただける環境を整えております。

また、定員3名の共用型デイサービスの運営も継続しながら、新たな取り組みとして、1ユニット1名の合計定員2名の緊急ショートステイサービスを併設し、地域の介護ニーズに幅広く対応してまいります。新ユニット開設に伴い、新たに若松病院・若松苑から頼もしい仲間も加わりました。

5月8日、新グループホーム「キックオフミーティング」を行い、職員一人一人の想う、グループホームの理想をグループワークし、職員同士で共有した内容は以下の通りです。

- ①私たちは、入居者様、ご家族、職員が“本当の家族”のような関係性を築き、笑顔あふれるホームづくりを目指します。
- ②地域の皆様が気軽に足を運び、介護や認知症に関する困りごとを相談できる身近な存在となれるよう努めます。
- ③業務上の課題や失敗に対しては、職員一人を責めるのではなく、皆で話し合い業務の改善を行い、安心して働ける環境を整備します。
- ④中原区自治会への加入、地域の行事への参加など地域との交流を積極的に行い、地域と共に支え合い、共に成長できるホームを目指してまいります。

今後とも、グループホーム若松ぎのわんへの温かいご支援とご指導を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

地域包括ケア病棟での リハビリの役割

生活期リハビリ課 赤嶺 保和 (理学療法士)

地域包括ケア病棟は、急性期治療を終えた後の在宅復帰支援、在宅で体調をくずした方の治療、介護者の負担軽減に短期間入院するなど様々な形で在宅生活を支える大切な役割を担っています。

具体的には、発熱や脱水、転倒後の体力低下、介護負担の増大などをきっかけに入院される方も多く、本人の体調や在宅での生活を立て直すためのリハビリが重要となります。

リハビリでは、歩行や立ち上がりなどの身体機能の回復だけでなく、着替え、トイレ、入浴、食事といった日常生活動作の練習を行い、退院後の暮らしを具体的に見据えた「生活リハビリ」で支援します。また、ご家族への介助方法の説明や住宅環境へのアドバイスも大切な役割です。自宅訪問や居宅サービスとの連携相談を行い、安心して自宅や施設へ戻れる準備を進めます。

自宅で引きこもりであった方がリハビリを通して動作改善・生活リズムが整い、介護保



険サービスの利用・在宅生活の充実に繋がるなど法人全体でも連携して「ほぼほぼ在宅」をサポートしています。

また入院治療中の病棟での日中の過ごし方として、積極的な離床支援と余暇活動の取り組みが、生活の質を高めると考え推進しています。病院で過ごす日も大切な人生のひとつ、患者さんも職員も一緒に笑顔で過ごせる様に心がけています。

医師、看護師、介護士、医療ソーシャルワーカー、栄養士など多職種と連携しながら、「地域住民の困りごとに全力で応える」をミッションとして、患者さんとご家族に寄り添ったリハビリを行っています。



無料送迎バスのご案内

当法人では、無料送迎バスのサービスを実施しております！当法人の施設をご利用の際は、お気軽にご利用ください。



■運行日

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○		
午後	○	○	×	○	○	×	×

※年末年始(12/31~1/3) 運休



路線地図、時刻表は
ホームページ
をご覧ください。

北中城若松病院 総務課
☎(098)935-2277

三つ撚りの糸は簡単には切れない チャプレン室 瑞慶山 真

子どもの頃、国語の教科書に出てきた「スイミー」というお話が好きでした。大人になってからも絵本を手に取り、子どもに読み聞かせをしたものです。たとえ自分一人は小さくても、大切な仲間をつくり、みんなで力を合わせるなら、どんなに大きな困難も乗り越えていける。そう語りかけながら小さな手を包んであげたのを覚えています。

一人では微力でも、それぞれに違いがあっても集まることができ、息を合わせ、力を合わせて、みんなが一つのことに力を束ねるなら、そこには理論値以上の相乗効果が生まれます。

聖書には「三つ撚りの糸」という言葉があります。一本では細くて弱いように見える糸でも、その糸を三つ撚りにすることで強度が増すというのです。一人ではなく二人が力を合わせることで、より良い報いが得られるとこの箇所は説いています。

一本の糸は自分、もう一本は相手。では、三本目は誰なのか。後にイエス・キリストは「わたしがあなたがたと共にいる」と語り、三本目の位置にご自身を置かれました。この相乗効果に、今、改めてワクワクしています。



チャプレン室
「こころのサプリメント」

Medical
Healthy
Recipe



七夕の日の冷やしソーメン

若松苑 栄養課
内嶺 みゆき (管理栄養士)

冷やしソーメンといえば、涼し気で夏の風物詩として七夕の日に食べるご家庭もおおいと思います。トッピングの具材に錦糸卵や豚しゃぶなどのたんぱく質、トマト、オクラ、ねぎ、きゅうり、わかめなどのビタミン、ミネラル、食物繊維をのせると栄養バランスも整い、彩りも食欲をそそり夏バテ防止にも繋がります。

カラフルなソーメン (赤:梅、緑:青しそ、紫:紅芋など) や好きな具材を揃えて、楽しく作ってみて下さいね (^_^)

冷やしソーメン <材料2人分>

(1人分: 370kcal)



- ソーメン……………3束
- 錦糸卵・卵1個・油小さじ1杯
- オクラ……………10g×2個
- 生わかめ……………10g
- ロースハム……………10g×2枚 (短冊切り)
- 星型の人参…10g×2個
- 氷(麺冷やし用)……適宜
- 麺つゆ (お好みの銘柄)……適宜
- おろし生姜……………適宜

【作り方】

- ① トッピングの具材はそれぞれ調理し、下準備する。
- ② ソーメンは茹でたあと流水で洗い、冷水で冷やしてざるにあげる。
- ③ ソーメンを器に盛り付け、準備した具材を飾り完成です!!



介護報酬臨時改定『食費について』

介護老人保健施設 若松苑 事務課 係長 友利 健作

昨今の物価上昇は、依然として続いております。

厚生労働省は、食材料費、燃料費、人件費等の更なる高騰の中、現状の価格を維持することが極めて困難な状況と判断し、介護報酬臨時改定による食費の改定が8月から行われる事となりました。

介護施設サービスご利用者・ご家族様には、大変なご負担をおかけいたしますこと、誠に心苦しく存じますが、今後も安全で質の高いお食事を提供できるよう努めてまいります。ご理解とご協力をお願い致します。詳細は、下表をご覧ください。

(1日当たり)

利用者負担段階	対象者の目安 (概要)	現行 (~R8.7)	改定後 (R8.8~)	引き上げ額
基準費用額	(費用の算定基準)	1,445円	1,545円	100円
第1段階	生活保護、老齢福祉年金受給者など	300円	300円	0円
第2段階	非課税世帯 (年金等80万円以下)	390円	390円	0円
第3段階①	非課税世帯 (年金等120万円以下)	650円	680円	30円
第3段階②	非課税世帯 (年金等120万円超)	1,360円	1,420円	60円

介護老人保健施設 若松苑 理念

障がいや疾病を抱えながらも その人が望む生活がおくれるように
ご家族も共に支えていきたい

入院治療を終えた後たとえ、障がいや疾病が残ってもその人が望む生活がおくれるようにご家族も共に支えていきたいと思えます

生活歴や価値観等を尊重したその人が望む生活がおくれるようにご家族、地域の方々、関係機関等と協力しリハビリと介護を提供し生活を支える医療と看護をチームで提供していきたいと思えます

これからもできる限り、住み慣れた地域の中でその人が望む生活がおくれるように地域で支えあう、介護予防にも努めていきたいと思えます



アガペ会理念

アガペ(神の愛)に生かされ、アガペ(神の愛)に生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい(聖書 ヨハネ福音書13章34節)

《理念の意味》 アガペとは「神様の愛」というギリシャ語です。私たち職員は、神様と周囲の多くの方々に愛されて生きてきた事を感じ、神様が愛されている目の前の療養者・利用者とそのご家族の皆さんの幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の方々の幸せを目指して医療とケアを提供していきます。

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- ・地域包括ケア病棟
- ・回復期リハビリ病棟
- ・認知症治療病棟(休床)
- ・特殊疾患病棟
- ・認知症デイケア あしやぎ (認知症の方も含む)
- ・新オレンジサポート室 ☎/098-943-4085
FAX/098-943-4702

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- ・入所療養介護
- ・短期入所療養介護
- ・若松苑デイサービス
- ・若松苑訪問リハビリテーション

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

3F サービス付高齢者住宅 アガペファミリー ☎/098-935-4165

2F グループホームわかまつ ☎/098-935-1021

1F ファミリークリニックきたなかぐすく
☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708

B1F 通所介護 ココロッジ ☎/098-982-0717

..... 訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818

..... 訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154

..... ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202

..... ケアプランステーション ゆい
☎/098-935-3066・098-935-5968

..... 地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093
クリニック以外の事業所の FAX は 098-935-5855 (共通)

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1 (1F)
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホーム若松 ぎのわん

〒901-2204 宜野湾市上原 1 丁目 5 番 14 号
☎/098-892-5104 FAX/098-892-5111

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067

老人デイサービスセンターしおさい

〒901-2321 沖縄県北中城村字美崎 262
☎/098-935-5190

<https://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

